



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月6日

上場会社名 ころネット株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6060 URL http://www.cocolonet.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齋藤 高紀
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 澤田 正晴 TEL 024-573-6556
 四半期報告書提出予定日 2020年11月10日 配当支払開始予定日 2020年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満は切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	3,793	△31.2	△82	—	△66	—	56	△84.3
2020年3月期第2四半期	5,514	1.2	414	56.4	482	44.0	359	1.3

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 101百万円 (△70.4%) 2020年3月期第2四半期 344百万円 (1.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	14.65	—
2020年3月期第2四半期	93.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	19,767	9,087	45.9	2,362.84
2020年3月期	20,411	9,043	44.3	2,350.85

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 9,080百万円 2020年3月期 9,034百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2021年3月期	—	15.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,684	△26.6	△82	—	△61	—	49	△77.7	12.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	3,843,100株	2020年3月期	3,843,100株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	125株	2020年3月期	125株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	3,842,975株	2020年3月期2Q	3,842,975株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う経済活動及び社会活動の制限により、景気が急速に悪化しました。緊急事態宣言の解除後は、消費活動に持ち直しの動きが見られるものの、依然として感染症拡大への懸念もあり先行きは極めて不透明な状況にあります。

当社グループにおいては、新型コロナウイルス感染症対策として、危機管理本部の設置と段階別対応方針及び対応マニュアルの策定を行い、手洗い・アルコール消毒の徹底、各施設の消毒、従業員のマスク着用、主催イベントの縮小等にグループ全体で取り組みました。また、各事業では「新しい生活様式」に則った施行・接客の標準化を図り、お客様と従業員の安全確保に努めました。

このような環境下、当社グループは中期経営計画の重点施策である「未来へのトランスフォーメーション」・「生産性追求」・「人財開発と働く環境の整備」に取り組んでおります。具体的には価値観や社会の変化等に対応する新サービス・新商品の開発、収益構造の改善等を強化しました。また、業務を抜本的に見直すBPRの拡大・加速、葬祭・婚礼・互助会事業に係るシステム刷新等、生産性の向上に努めました。更に、社員の健康増進に取り組む健康経営や、変化に対応するためのリーダー人財の育成、「働き方の新しいスタイル」に係るテレワークの導入等を推進しました。

しかしながら、当第2四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、新型コロナウイルス感染症の影響により売上高は3,793百万円（前年同期比31.2%減）、営業損失は82百万円（前年同期は営業利益414百万円）、経常損失は66百万円（前年同期は経常利益482百万円）となりました。一方で、法人税等調整額が減少したこと等により親会社株主に帰属する四半期純利益は56百万円（同84.3%減）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであり、売上高についてはセグメント間の内部売上高または振替高を除き記載しております。

なお、当社は事業子会社の経営統括を主たる目的とする純粋持株会社であり、各連結子会社からの不動産賃貸料収入、経営管理料収入及び配当金を主たる収益としております。一方で、各セグメント（各連結子会社）の営業費用には、当社に対する不動産賃借料及び経営管理料が計上されております。

① 葬祭事業

葬祭事業につきましては、営業エリアの死亡者数は横ばいで推移しましたが、新型コロナウイルス感染症の流行に伴う参列の自粛や会食利用の減少等により、葬儀の小規模化及び低価格化が進行しました。

このような状況の下、施行時における会場レイアウトの変更や消毒・換気の徹底、Web事前相談や葬儀のライブ配信サービスの導入等を実施し、安全性を訴求しました。また、葬儀付帯商材の販売促進、供花供物のオンライン決済の推進等を強化し、売上確保に努めました。更に、2020年7月に「直葬・家族葬 とわノイエ 宇都宮」（栃木県宇都宮市）を新築オープンし、小規模葬儀ニーズへの対応を充実させました。しかしながら、葬儀施行単価が大幅に低下した結果、売上高は2,241百万円（前年同期比23.7%減）、営業利益は80百万円（同54.1%減）となりました。

② 石材事業

石材事業につきましては、世界的な新型コロナウイルス感染症の流行により、海外からの墓石・石材加工商品の入荷量減少や入荷遅れが発生しました。また、ベトナムにおける墓石加工販売の事業運営が遅延する等の影響が生じました。

このような状況の下、店舗における感染防止策の実施と安全性の訴求、Webを活用したリモート営業の導入、付帯商材の販売促進や墓石のリフォーム・メンテナンスの推進等を実施しました。しかしながら、緊急事態宣言に伴う営業活動の制限や外出自粛及び顧客の購買行動の弱まり等により、石材卸売数量及び墓石の新規建立件数が減少しました。その結果、売上高は1,071百万円（前年同期比18.7%減）、営業利益は48百万円（同65.7%減）となりました。

③ 婚礼事業

婚礼事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の流行により、婚礼や宴会の延期や中止が相次ぎました。また、緊急事態宣言の発令期間中は婚礼会場（全6施設）を臨時休業しました。

このような状況の下、施行時におけるソーシャルディスタンスの確保、飛沫防止パネルやサーモグラフィーの設置、オンラインによる相談会や打合せの導入等を実施し、安全性を訴求しました。また、料理のテイクアウトや宅配の推進、フォトプラン等の新商品の開発、婚礼のキャンセル防止等に取り組みました。しかしながら、売上高は118百万円（前年同期比86.7%減）、営業損失は330百万円（前年同期は営業損失47百万円）となりました。

④ 生花事業

生花事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の流行により、葬儀の小規模化が加速し、生花需要の低迷に拍車がかかりました。このような状況の下、小規模葬儀向けの生花商品の開発、生花店や葬儀社等へのオンラインショップの訴求及び郵送・架電による営業活動等、新規取引先の開拓と既存取引先への深耕に注力しました。しかしながら、生花及び生花商品の卸売数量が減少した結果、売上高は250百万円（前年同期比11.6%減）、営業利益は57百万円（同24.2%減）となりました。

⑤ 互助会事業

互助会事業につきましては、広告宣伝及び郵送・架電による営業活動、施行後の再加入促進等に努めたものの、新型コロナウイルス感染症の流行により、セミナー・イベントの開催や訪問活動を自粛したこと等が影響し、会員募集が低迷しました。その結果、売上高は2百万円（前年同期比44.5%減）、営業損失は10百万円（前年同期は営業損失3百万円）となりました。

⑥ その他

その他の介護部門につきましては、サービス付き高齢者向け住宅の入居率の維持に努めました。その他の装販部門につきましては、既存取引先を中心に差別化商品の販売を強化しました。その結果、売上高は106百万円（前年同期比43.1%増）、営業利益は5百万円（前年同期は営業損失0百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

(資産合計)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は19,767百万円（前連結会計年度比3.2%減）となりました。

流動資産は4,310百万円（同12.4%減）となりました。これは主に現金及び預金が244百万円、受取手形及び売掛金が109百万円、前払式特定取引前受金保全のための国債が満期となったことにより有価証券が330百万円減少したことによるものです。

固定資産は15,457百万円（同0.2%減）となりました。これは主に保有株式の時価評価により投資有価証券が51百万円及び前払式特定取引前受金保全のための金銭供託預入等によりその他（供託金）が49百万円増加した一方で、減価償却費計上により建物及び構築物が101百万円減少したことによるものです。

(負債合計)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は10,680百万円（前連結会計年度比6.1%減）となりました。

流動負債は1,227百万円（同25.7%減）となりました。これは主に買掛金が51百万円、賞与引当金が61百万円、1年内返済予定の長期借入金が146百万円減少したことによるものです。

固定負債は9,453百万円（同2.7%減）となりました。これは主に長期借入金が115百万円及びその他（長期未払金）が172百万円減少したことによるものです。

(純資産合計)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は9,087百万円（前連結会計年度比0.5%増）となりました。これは主に利益剰余金が1百万円減少した一方で、その他有価証券評価差額金が47百万円増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ112百万円減少し2,444百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローで使用した資金は70百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失の計上42百万円、減価償却費の計上202百万円、賞与引当金の減少額61百万円、長期未払金の減少額172百万円によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローで得られた資金は278百万円となりました。これは主に定期預金の払戻による収入558百万円、定期預金の預入による支出426百万円、有形固定資産の取得による支出95百万円、供託金の返還による収入300百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローで使用した資金は320百万円となりました。これは主に長期借入金の返済による支出261百万円によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による業績への影響を合理的に算出することが困難であることから、第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想、並びに配当予想は未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づき算出し発表いたしました。詳細につきましては、2020年10月30日の「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」で発表いたしましたとおりです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,080,425	2,836,037
受取手形及び売掛金	531,718	421,794
有価証券	361,858	31,763
商品及び製品	365,086	342,586
仕掛品	42,635	39,262
原材料及び貯蔵品	33,557	32,472
その他	656,334	752,568
貸倒引当金	△151,594	△146,123
流動資産合計	4,920,020	4,310,362
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,121,379	5,019,788
土地	4,877,038	4,878,946
その他（純額）	126,998	93,518
有形固定資産合計	10,125,417	9,992,253
無形固定資産		
のれん	330,549	309,652
その他	137,710	150,148
無形固定資産合計	468,259	459,800
投資その他の資産		
投資有価証券	999,463	1,051,161
営業保証金	546,568	553,689
その他	3,428,807	3,478,359
貸倒引当金	△76,749	△77,695
投資その他の資産合計	4,898,090	5,005,516
固定資産合計	15,491,767	15,457,570
資産合計	20,411,788	19,767,933

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	287,307	235,482
1年内返済予定の長期借入金	466,784	320,520
未払法人税等	66,612	23,691
賞与引当金	225,695	164,593
その他	605,735	482,852
流動負債合計	1,652,134	1,227,139
固定負債		
長期借入金	441,230	325,810
前受金復活損失引当金	25,449	22,268
資産除去債務	171,528	172,949
負ののれん	68,161	61,965
前払式特定取引前受金	8,725,865	8,766,876
その他	283,974	103,232
固定負債合計	9,716,208	9,453,102
負債合計	11,368,343	10,680,241
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,658	500,658
資本剰余金	2,032,312	2,032,312
利益剰余金	6,444,281	6,442,943
自己株式	△120	△120
株主資本合計	8,977,133	8,975,794
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,729	58,360
為替換算調整勘定	46,382	46,181
その他の包括利益累計額合計	57,111	104,541
非支配株主持分	9,200	7,355
純資産合計	9,043,445	9,087,691
負債純資産合計	20,411,788	19,767,933

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	5,514,553	3,793,795
売上原価	3,657,636	2,681,676
売上総利益	1,856,916	1,112,119
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	1,448	331
給料及び賞与	537,258	457,056
賞与引当金繰入額	112,167	88,988
退職給付費用	20,793	20,721
その他	771,005	628,002
販売費及び一般管理費合計	1,442,673	1,195,101
営業利益又は営業損失(△)	414,243	△82,982
営業外収益		
受取利息	8,499	5,490
受取配当金	1,593	1,478
負ののれん償却額	6,196	6,196
掛金解約手数料	16,687	12,187
貸倒引当金戻入額	1,215	4,857
前受金復活損失引当金戻入額	2,780	380
その他	44,780	37,832
営業外収益合計	81,753	68,422
営業外費用		
支払利息	3,863	2,148
持分法による投資損失	2,308	32,042
貸倒引当金繰入額	2,566	—
為替差損	—	12,891
その他	5,043	5,167
営業外費用合計	13,782	52,250
経常利益又は経常損失(△)	482,214	△66,810
特別利益		
固定資産売却益	24,039	84
補助金収入	—	24,876
その他	—	5,856
特別利益合計	24,039	30,817
特別損失		
投資有価証券評価損	9,266	—
災害による損失	—	5,506
その他	1,651	979
特別損失合計	10,918	6,486
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	495,335	△42,479
法人税、住民税及び事業税	58,277	3,764
法人税等調整額	77,863	△98,883
法人税等合計	136,140	△95,118
四半期純利益	359,194	52,639
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△3,666
親会社株主に帰属する四半期純利益	359,194	56,305

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）
四半期純利益	359,194	52,639
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,621	47,630
為替換算調整勘定	—	9,109
持分法適用会社に対する持分相当額	△8,134	△7,489
その他の包括利益合計	△14,755	49,251
四半期包括利益	344,439	101,890
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	344,439	103,735
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△1,844

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	495,335	△42,479
減価償却費	215,963	202,175
のれん償却額	20,897	20,897
負ののれん償却額	△6,196	△6,196
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,187	△4,525
賞与引当金の増減額(△は減少)	36,010	△61,102
前受金復活損失引当金の増減額(△は減少)	△6,282	△3,181
受取利息及び受取配当金	△10,093	△6,968
支払利息	3,863	2,148
為替差損益(△は益)	157	△5
持分法による投資損益(△は益)	2,308	32,042
受取保険金	—	△5,856
固定資産売却損益(△は益)	△24,039	△84
固定資産除却損	1,651	979
投資有価証券評価損益(△は益)	9,266	—
災害による損失	—	5,506
補助金収入	—	△24,876
売上債権の増減額(△は増加)	△54,329	109,923
たな卸資産の増減額(△は増加)	27,188	27,009
未収消費税等の増減額(△は増加)	23,930	△25,764
仕入債務の増減額(△は減少)	52,824	△51,825
未払消費税等の増減額(△は減少)	33,402	△50,033
前払式特定取引前受金の増減額(△は減少)	20,095	36,421
長期未払金の増減額(△は減少)	—	△172,368
その他	△95,323	△18,131
小計	748,819	△36,292
利息及び配当金の受取額	7,708	6,201
利息の支払額	△3,859	△2,144
補助金の受取額	—	29,063
保険金の受取額	—	5,856
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△46,782	△72,915
営業活動によるキャッシュ・フロー	705,885	△70,232

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△426,000	△426,000
定期預金の払戻による収入	512,000	558,000
供託金の預入による支出	—	△349,000
供託金の返還による収入	—	300,000
有形固定資産の取得による支出	△130,931	△95,939
有形固定資産の売却による収入	97,535	230
無形固定資産の取得による支出	△23,255	△36,732
固定資産の除却による支出	△1,651	△1,128
投資有価証券の償還による収入	—	349,000
関係会社株式の取得による支出	—	△35,000
貸付金の回収による収入	60,073	20,648
営業保証金の差入による支出	△10,000	△16,800
営業保証金の回収による収入	23,423	9,655
その他	△7,073	1,370
投資活動によるキャッシュ・フロー	94,119	278,304
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,220	△1,022
長期借入金の返済による支出	△280,734	△261,684
配当金の支払額	△57,638	△57,758
財務活動によるキャッシュ・フロー	△339,592	△320,465
現金及び現金同等物に係る換算差額	△157	5
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	460,254	△112,387
現金及び現金同等物の期首残高	1,861,440	2,556,425
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,321,695	2,444,037

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

該当事項はありません。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて）

新型コロナウイルス感染症に伴う当社グループの業績に関して、現時点においては収束時期を確実に見通せる状況にありませんが、当該感染症による影響は2021年3月まで続くものと仮定して、繰延税金資産の回収可能性及び固定資産の減損会計等の会計上の見積りを行っております。

また、当該見積りは入手可能な情報を総合的に勘案したものでありますが、仮定には不確実性が存在するため、新型コロナウイルス感染症の収束時期及び経済環境への影響が変化した場合には、上記の見積りの結果に影響し、第3四半期連結会計期間以降の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に影響を及ぼす可能性があります。

なお、前事業年度の有価証券報告書に記載した内容から、重要な変更はありません。

（連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱いの適用）

当社及び国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」（令和2年法律第8号）において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行に合わせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」（実務対応報告第39号 2020年3月31日）第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日）第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

（セグメント情報）

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					
	葬祭事業	石材事業	婚礼事業	生花事業	互助会事業	計
売上高						
外部顧客への 売上高	2,937,010	1,318,508	894,556	283,250	4,582	5,437,909
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,122	27,404	100,230	261,765	174,725	565,248
計	2,938,133	1,345,913	994,786	545,016	179,307	6,003,157
セグメント利益 又は損失(△)	175,309	141,877	△47,484	76,156	△3,122	342,736

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への 売上高	74,604	5,512,513	2,040	5,514,553
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	28,749	593,997	△593,997	—
計	103,354	6,106,511	△591,957	5,514,553
セグメント利益 又は損失(△)	△262	342,474	71,769	414,243

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントである介護部門及び装販部門等であります。

2 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高の調整額は、持株会社である当社の不動産収入であります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社利益375,308千円、各報告セグメントからの受取配当金の消去額△294,000千円、セグメント間取引消去1,534千円、のれん償却額△20,897千円、その他の調整額が9,823千円であります。なお、全社利益は、当社の主たる収益である各連結子会社からの経営管理料収入及び不動産賃貸料収入等によって生じた利益であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					
	葬祭事業	石材事業	婚礼事業	生花事業	互助会事業	計
売上高						
外部顧客への 売上高	2,241,119	1,071,727	118,671	250,316	2,544	3,684,378
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	895	60,274	21,462	205,774	159,225	447,631
計	2,242,014	1,132,001	140,134	456,091	161,769	4,132,009
セグメント利益 又は損失(△)	80,421	48,628	△330,472	57,747	△10,239	△153,915

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への 売上高	106,776	3,791,155	2,640	3,793,795
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	23,735	471,367	△471,367	—
計	130,512	4,262,522	△468,727	3,793,795
セグメント利益 又は損失(△)	5,623	△148,292	65,309	△82,982

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントである介護部門及び装販部門等であります。

2 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高の調整額は、持株会社である当社の不動産収入であります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社利益298,361千円、各報告セグメントからの受取配当金の消去額△211,000千円、セグメント間取引消去△13,403千円、のれん償却額△20,897千円、その他の調整額が12,249千円であります。なお、全社利益は、当社の主たる収益である各連結子会社からの経営管理料収入及び不動産賃貸料収入等によって生じた利益であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。